

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	博物館資料保存論				授業形態	講義			
科目コード	710103	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	永友 良典							ICT活 用	
授業概要	博物館資料の保存について、資料の特質を理解し、様々な劣化要因を取り上げながら適切な保存環境や保存方法、資料の活用について学ぶ。さらに、資料保存の原点である正倉院宝物の保存の在り方や曝涼など伝統的な資料保存管理を学ぶとともに、空気環境等の汚染につながる化学薬品等を用いた強制的な保存から、自然環境に配慮した保存環境の確保を行う文化財IPMの活動や自然災害から文化財を守り救出する文化財レスキューの現状など新しい動きについても学ぶ。なお、宮崎県総合博物館と宮崎県立西都原考古博物館で通算18年の勤務経験があり、文化財IPMコーディネーターの資格も有する。また、宮崎歴史資料ネットワークに所属しており、文化財保全のボランティア活動にも携わっている。18年の勤務した実績と文化財IPMの実践、東日本大震災や熊本地震等での文化財レスキュー活動等の経験を授業に十分活かしていく。								
関連する科目	1年次及び2年次で履修する博物館に関する科目								
授業の方法と進め方	授業で扱うキーワードを提示し事前に調べ、授業で教材ちして扱う。授業後にキーワードのまとめを課題として提出させる。授業では、関連する写真データを使ってわかりやすい授業に努める。								
授業計画【第1回】	第1回 博物館資料保存概論について 博物館資料保存の趣旨を具体的に説明する。								
授業計画【第2回】	第2回 博物館における資料保存活動 宮崎県総合博物館と西都原考古博物館における資料保存活動を紹介する。								
授業計画【第3回】	第3回 文化財保護の歴史 我が国の文化財の保護の歴史について技術や制度面を概説する。								
授業計画【第4回】	第4回 博物館資料の劣化要因① 博物館資料を劣化させる7つの要因のうち、①温度・湿度、②照明・光、③空気質、④生物被害について概要を解説する。								
授業計画【第5回】	第5回 博物館資料の劣化要因② 博物館資料を劣化させる7つの要因のうち、⑤移動・輸送、⑥災害、⑦人的要因について概要を解説する。								
授業計画【第6回】	第6回 博物館資料の温湿度管理 劣化要因のひとつである温湿度管理について温度・湿度の管理について劣化の理由と状態、対策について解説する。								
授業計画【第7回】	第7回 博物館資料の害虫被害と対策 劣化要因の生物被害（害虫被害）について劣化の理由と資料の劣化状況について解説する。								
授業計画【第8回】	第8回 博物館資料のカビ被害と対策 劣化要因の生物被害（カビ被害）について劣化の理由と資料の劣化状況について解説する。								
授業計画【第9回】	第9回 博物館の資料保存環境（収蔵庫） 博物館の収蔵庫内での温湿度、空気質、生物被害の保存環境の管理について、概要と対策について、いくつかの事例を紹介し、解説する。								
授業計画【第10回】	第10回 博物館の資料保存環境（展示室） 博物館の展示室内での温湿度、照明・光、空気質、生物被害等の保存環境の管理について、概要と対策について、いくつかの事例を紹介し、解説する。								
授業計画【第11回】	第11回 文化財の生物被害対策の歴史 「曝涼」から「燻蒸」、「文化財IPM」といった文化財保存活動の流れを紹介する。特に「燻蒸」について正倉院での活動をふまえて紹介する。								

授業計画 【第12回】	第12回 博物館における文化財IPM 九州国立博物館で取り組まれている文化財IPMの考え方を紹介し、実践に向けた取り組みについて説明する。
授業計画 【第13回】	第13回 博物館資料の災害対策 地震や津波、水害等の災害における危機管理体制の強化や被災資料の救済、修復作業等の文化財レスキュー活動について解説する。
授業計画 【第14回】	第14回 博物館資料の修復の方法 文化財修復の意義と方法について概説する。修復作業では伝統的な修理方法や科学調査を取りており、学芸員が意義や方法を十分理解し、修復技術者と協働で取り組む必要性を理解させる。
授業計画 【第15回】	第15回 自然史系博物館の資料保存 植物・動物・地質等の自然史資料の保存について解説する。
授業の到達目標	人類共有の財産である博物館資料を適切に保管・管理し、活用を積極的に進めながら、後世に受け継いでいくために必要な保存方法や保存科学への理解を深め実践できるようにすることを目標とする。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学習 【予習】	提示した重要なキーワードについて内容を事前に調べる。
授業時間外の学習 【復習】	授業で解説した課題についてレポートにまとめる。
課題に対する フィードバック	レポートにコメントする。
評価方法・基準	定期試験80点、課題提出20点
テキスト	資料の配布
参考書	使用しない。